

かさほらのりひろ
笠原規弘議員 が町に問う！

稼ぐ町へ

Q 残念ながら「出沒！アド街ツク天国」に取り上げられなかった店舗等の宣伝やフォロワー体制は、Aにぎわい創出課長 商工会等と連携し、個々の企業に寄り添った伴走型の支援を展開していく。ほかにも「プレミアム付き商品券発行事業」を通じた支援にも取り組んでいく。

いがらしやすひろ
五十嵐康博議員 が町に問う！

学校給食

Q より多くの地場産物を活用するために、自校方式を用いてはどうか。防災面でも有益と考えるが。A 学校教育課長 地場産物活用は高い教育効果が期待される。自校方式は、避難時にいち早く食事の提供が可能になると考えられるが、施設更新が順次必要で、中長期的にコスト増が見込まれる。

しまぎきたかお
島崎隆夫議員 が町に問う！

CO₂削減

Q 温暖化防止対策について、町民全体で意思疎通ができなければ、ゼロカーボンシティ宣言は意味をなさない。目標設定と意識改革の道筋は。A 環境農林課長 環境基本計画の見直しの中で、町民アンケートなどを実施し、施策を考えていく。その他の質問は、ワクチン接種状況

いぐちりょういち
井口亮一議員 が町に問う！

感染性ごみ

Q 小規模医療機関や介護・福祉施設で働く人たちの感染防止に、事業ごみの処理費を支援できないか。A 健康福祉課長 医療福祉系事業者のごみ処理、特に感染性廃棄物は非常に負担となっている。町は昨年から今年にかけて3回の支援金を支給している。これを処理費用に充てることは可能である。

たかはし
高橋さゆり議員 が町に問う！

定員管理

Q 職員削減が、住民サービスの低下につながっていないか。A 総務課長 新たな行政需要も出てきている。今後は削減ありきではなく、必要な部署には職員を投入していく。**Q** 子ども家庭総合支援拠点設置は、専門職を配置とあるが。A 総務課長 必要の人材確保に向けて職員募集を進める。

ほんだしげのぶ
本多重信議員 が町に問う！

森の大切さ

Q 当町で計画が進む出力20kw超の太陽光発電152件の面積と森林減少の影響は。A 環境農林課長 面積は把握していないが、出力10kwで約100mが必要。森林は二酸化炭素を吸収し、温暖化防止の役割を果たす。森林の炭素貯蔵量は50年スギの人工林1haで170tと試算されている。

しまだやすひろ
島田康弘議員 が町に問う！

道の駅

Q 当町活性化の希望として計画している「道の駅リニューアル」の進捗状況はどうなっているのか。A 当町に注目が集まっている今こそ、最先に取り組むべきと考えるが。**Q** にぎわい創出課長 コロナの収束見込みや財源確保等の課題を踏まえ、できるだけ早期に方向性を決定する。

たかせ つとむ
高瀬 勉議員 が町に問う！

防災対策

Q 風水害の情報を5段階で分類した大雨・洪水警戒レベルが改定された。住民等への周知は。A 防災地域支援課長 避難情報に係る改正について、町広報紙やホームページへの掲載・チラシの全戸配布等で周知に努める。また、各地区・地域において実施される防災訓練の場等で理解の促進を図る。

とぐち まさる
戸口 勝議員 が町に問う！

雇用創出

Q 半エックスで稼ぐ仕組みのあるまちづくりを。A 環境農林課長 農村の持つ価値や魅力が再評価され、他の仕事を組み合わせた働き方「半エックス」への関心が高まっている。必要な技術と経験を身につけ、山仕事を担う人材の育成を行い、「半農半林」への土台づくりが出来ればと考えている。

今回は「超ダイジェスト版」です

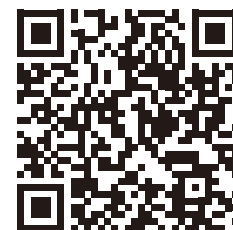


9の視点

一般質問

「歩いて、見て、聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交え、町に考えを質す。

ワクチン接種の「準備」から「開始」へ移行する間、議会運営委員会は一般質問の自粛要請を解き、持ち時間の時短要請（75分→50分）を決定しました。今号では紙面の都合上、超ダイジェスト版でお伝えします。



一般質問のすべての質問項目は議会ホームページで公開中。全文（会議録）も8月末頃に掲載予定です。

議会ホームページには、本会議の発言記録のほか、議員紹介や会期日程、請願や陳情の出し方などの情報を掲載。ぜひご覧ください。QRコードからもアクセスできます。

小川町議会



で検索